

## エピソード

### 1日約5トン使用する 厳選した国産玉ねぎ

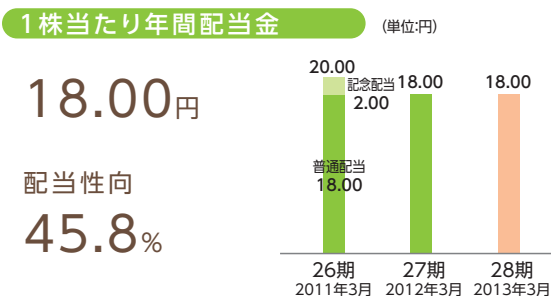
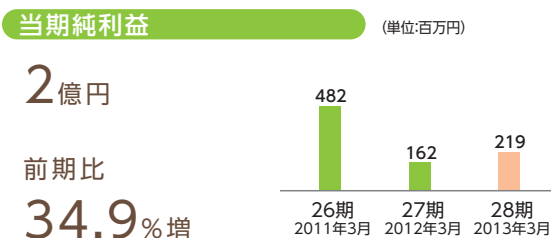
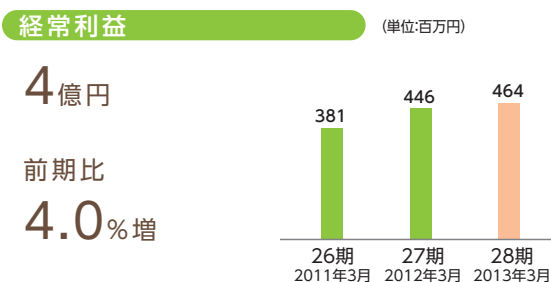
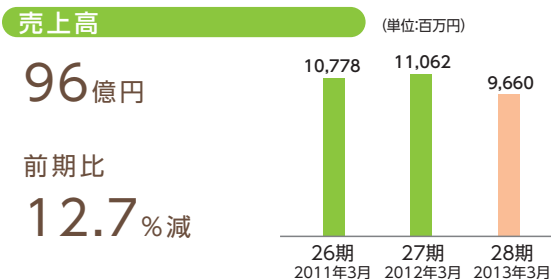
ピエトロでは、ドレッシングを1年中変わらぬおいしさに仕上げるために、季節ごとに、ドレッシングにして一番おいしい玉ねぎを探し求めています。その選定にあたっては、創業社長の村田と製造部の「味の番人チーム」が産地を訪ね歩き、畑を確認し、生産者に話を聞いて吟味を重ね、収穫時期や天候で微妙に異なる味の違いを何度もチェックします。

こうして厳選した国産玉ねぎの使用量は1日約5トン。水分の蒸発を防ぐために、へたと根の部分は切り落とさないまま工場に運び込まれます。

それをひとつひとつ人の手で下ごしらえをして搾った良質な玉ねぎジュースを原材料として使っています。

玉ねぎひとつにも手間暇をかけるこだわりが、ピエトロドレッシングのおいしさの秘密です。

## 財務ハイライト



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社2013年3月期の事業の概況についてご報告申し上げます。

### ●事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、長引く円高やデフレの状況から景気が低迷しておりましたが、年度後半には新政権の経済対策を受けて、景気回復の期待感が高まりました。

食品業界及び外食業界におきましては、雇用環境の改善の遅れなどから消費者の節約志向は依然として根強いものがあります。

このような状況のもと、当社グループは、さらなるブランド価値向上を目指し、付加価値の高い商品やサービスのご提供に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高は、食品事業においてドレッシング商品を中心に売上が好調に推移いたしました。受託事業の解約があったことなどから、96億60百万円(前期比12.7%減)となりました。

売上総利益については、食品事業が寄与したことなどから、55億81百万円(前期比4.4%増)となりました。また、アンテナショップの新設やテレビコマーシャルの放映など積極的な情報発信を行う一方で、販管費全般の削減に努めたことなどから、営業利益は4億75百万円(前期比6.5%増)、経常利益は4億64百万円(前期比4.0%増)、当期純利益は2億19百万円(前期比34.9%増)となりました。

代表取締役社長

村田 邦彦



### ●今後の見通し

2014年3月期の経営環境につきましては、政策効果等により景気は持ち直しの動きがあるものの、円安による原材料や資材等の価格の上昇が予想され、厳しい状況が続くものと思われます。

2014年3月期の連結業績予想につきましては、食品事業及び通信販売事業において、高付加価値商品の開発を行うとともに、お客様に向けた商品情報の発信力を強化して、売上拡大を図ってまいります。また、レストラン事業においては、季節メニューのご提供やグランドメニューの刷新などにより、集客力の向上を図ってまいります。

以上のことから、売上高は110億円(前期比13.9%増)、営業利益は5億50百万円(前期比15.6%増)、経常利益は5億30百万円(前期比14.1%増)、当期純利益は2億60百万円(前期比18.4%増)を予想しております。